

事業報告書

事業名 Challengers プロジェクト
-青梅市出身のサッカー選手とボールを蹴ろう-

2023 年 8 月 5 日(土) 青梅市立第一小学校校庭



2024 年 1 月 7 日(日) 今井市民センター体育館





- 1 実施団体 (一般社団法人)青梅市サッカー協会
- 2 担当課 スポーツ推進課
- 3 実施時期
- 4 参加者
- 5 実施場所

第一回目

2023 年 8 月 5 日(土) 青梅市立第一小学校校庭

- ・低学年(1～3 年生)…9:30-10:30 18 名
- ・高学年(4～6 年生)…11:00-12:00 11 名

第二回目

2024 年 1 月 7 日(日) 今井市民センター体育館

- ・低学年(1～3 年生)…9:30-10:30 25 名
- ・高学年(4～6 年生)…11:00-12:00 9 名

6 事業の目的

Jリーグが誕生して 30 年。青梅市からもプロサッカー選手が誕生しています。青梅市で生まれ育った選手たちの技や経験を、次の世代の青梅の子どもたちに生で体験してもらうことが目的。

7 役割分担

- ・団体の役割

青梅市出身のプロサッカー選手との調整

当日の会場設営・運営補助

広報(チラシ作り、HP)・受付のシステム作り

動画撮影編集

- ・担当課の役割

小学校へのチラシ配布等の広報活動

動画の青梅市 HP への UP など

8 事業の効果（どのような地域課題が解決できたか）

青梅で育つ子供たちが、「スポーツ始めてみたいな」、「僕も青梅で頑張れば、プロサッカー選手になれるな」など、モチベーションを持ってもらうことを効果とします。

9 目標達成

事業の目標：青梅で育ったプロサッカー選手の経験を、青梅の子どもたちに体感してもらい、各子供たちの心の中に「青梅のスポーツレガシー」を残していくことが目標。

目標の達成具合：子供たちの心に一生残る貴重な体験を実現。

10 事業の実施内容

○青梅市出身のプロサッカー選手によるサッカー教室

- ・上田康太(ジュビロ磐田、大宮アルディージャ、ファジアーノ岡山、栃木FC、クリアソン新宿)
- ・一宮憲太(Y.S.C.C.横浜、東京武蔵野ユナイテッドFC)
- ・原菜摘子(元サッカー日本女子代表、2005年アジア年間最優秀選手)
- ・中野就斗(サンフレッチェ広島所属)

各選手と青梅市の子供たちが、サッカーの練習、試合、質疑応答を実施。

11 実施団体と担当課の事業評価

4 はい 3 どちらかといえば「はい」 2 どちらかといえば「いいえ」 1 いいえ

調査項目	団体	担当課
(1)事前の話し合いを十分に行い、役割分担は明確になっていた	2	2
(2)事業に最もふさわしい協働形態が選択された	3	3
(3)協働の役割分担は適切だった	3	3
(4)協働相手は適切だった	4	3
(5)対等な立場での協力関係を築けた	3	3
(6)協働相手の自主性・自立性は尊重された	3	4
(7)事業実施は円滑になされた	4	4
(8)設定した目標が達成された	4	4
(9)協働で行うことにより効果がある事業だった	4	3
(10)今後の課題と改善策をお互いに話し合った	2	2

12 まとめ（今後の課題や改善点など）

団体側）

- ・低学年の募集がすぐに満員に、参加者を増やせる余地あり。
- ・選手への報酬がかなり格安でお引き受けいただいた。
- ・好評だったので、継続して行いたい。
- ・青梅市のサッカー環境の改善を求めたい。

行政側）

- ・アンケートの結果9割を超える満足度だった。
- ・小学校へのチラシ配布が夏休みや終業式直前となってしまったので事前の業務スケジュールをもっと協議できればよかった。
- ・参加者の意見でクラブには入りたくないが、サッカーが好きで関わりたいという方もいたので、こういったスポーツイベントを今後もっと増やし、様々なスポーツに触れる機会を作っていきたいと思う。
- ・プロの選手を間近で見れるのは珍しいことだが、青梅市出身でプロの選手がいるということ、またその人に実際に会って、直接教えてもらうことは、かなりモチベーションの向上につながると思う。他のスポーツでもプロ選手や活躍している選手はいるので今後のスポーツイベントの参考になった。

13 その他